

はまな

No.583 令和5年9月

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場

〒431-0214

静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 5005-3

TEL 053-592-0139 FAX 053-592-0906

<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/hamanako>

e-mail: suigi-hamanako@pref.shizuoka.lg.jp

目次

アサリの不漁と潮干狩りルールの変更について	・・・ 1
2022年度のシラスウナギ採捕結果	・・・ 2
クルマエビ種苗の放流が行われました	・・・ 3
県民の日イベント「浜名湖うなぎ物語」を開催	・・・ 4
静岡県漁業士会西部支部と行政との意見交換会を開催	・・・ 5
体験学習施設「ウォット」より	・・・ 6

写真：調査船「はまな」で浜名湖内の環境調査に向かう分場職員

アサリの不漁と潮干狩りルールの変更について

上原 陽平

浜名湖のアサリは漁業だけでなく潮干狩りなど観光としても重要な地域資源です。この重要なアサリ資源は、近年不漁が継続し、地域経済に大きな影響を与えています。アサリの年間漁獲量は2009年に6,009トンと好漁でしたが、その3年後の2012年以降は、漁獲量が減少傾向にあり、2019年に872トンと1,000トンを下回り、2021年にはわずか100トンとなっています(図)。

浜名湖のアサリは、浜名漁業協同組合の漁業権魚種で同組合の採貝組合連合会員らが採捕するとともに、資源管理を行っています。同連合会ではこの不漁に対し、漁獲量上限の規制強化やアサリの産卵期にあたる秋の1か月間の禁漁など、新たな資源管理を2021年から継続して行ってきました。しかし、2022年の年間漁獲量は196トンとわずかに増加したものの、資源回復には至っていないことから、

浜名漁業協同組合では更なる対策として、一般の方が浜名湖でアサリを採捕する潮干狩りのルールの変更を決断しました。変更点は、採捕可能期間の設定と採捕量上限の規制強化です。採捕可能期間の設定は、従来のルールでは年を通じて採捕が可能だったものを、3月～8月に限定し、産卵期を含む9月～2月を採捕禁止としました。採捕量上限の規制強化は、従来の1人1日当たり2kgを1kgに制限しました。

この新ルールは2023年9月から適用されており、内容は浜名漁業協同組合のホームページ*で確認することができます(今回の変更点以外のルールの確認もできます)。浜名湖で潮干狩りをする際は、ルールを守って楽しみましょう。

*<http://hamanagyokyo.or.jp/newpage2.html>

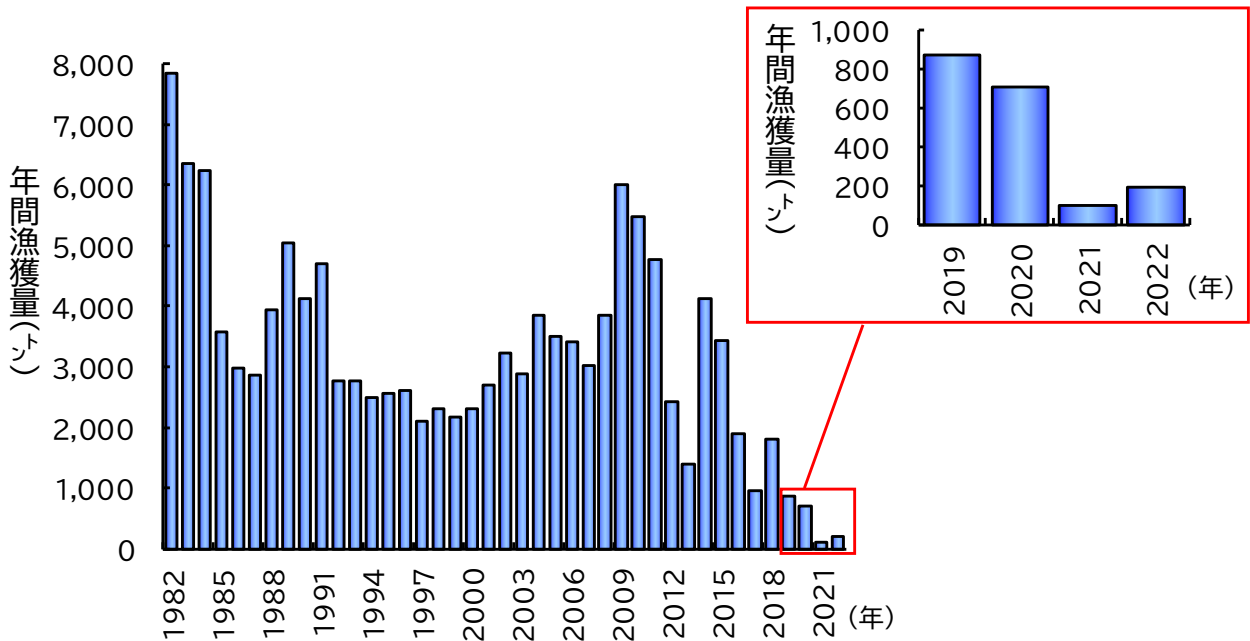


図 アサリの年間漁獲量の推移

2022年度のシラスウナギ採捕結果

隈部 千鶴

2022年度のシラスウナギの採捕は、採捕可能期間である2022年12月1日から2023年4月30日まで、例年同様に5か月間行われました。12月は4.4kgで前年(2.9kg)の1.5倍と上回ったものの、平年の3%と低調なスタートとなりました。1、2月も34、137kgと前年の24~52%、平年の13~52%と低調でしたが、3月は309kgと徐々に採

れ始め(前年の83%、平年並)、4月は211kgで前年の1.2倍、平年の1.1倍でした。2022年度期採捕期間全体としては、合計採捕量は696kgで前年(959kg)の73%、過去10年平均(2012~2021年度、1,116kg)の62%となり、2年連続1,000kgを下回りました(図1、表1)。

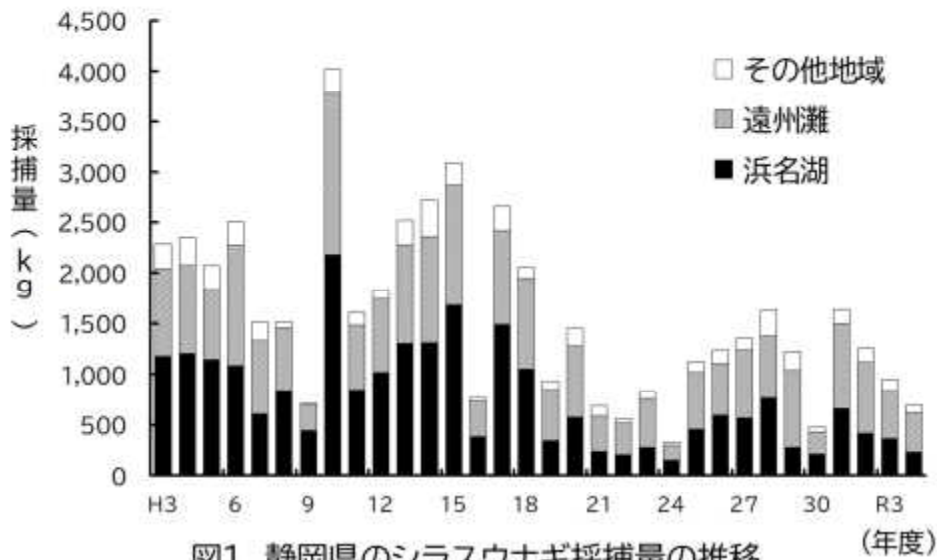


図1 静岡県のシラスウナギ採捕量の推移

表1 2022年度シラスウナギ採捕結果

(単位:kg)

		12月	1月	2月	3月	4月	計
浜名湖	2022年度*1	3	22	62	96	50	233
	2021年度*1	1	60	115	132	56	364
	平年値*2	59	110	115	115	39	439
遠州灘	2022年度*1	1	9	61	185	135	391
	2021年度*1	2	67	114	195	101	479
	平年値*2	65	112	115	161	95	548
その他地域	2022年度*1	0	2	15	29	26	72
	2021年度*1	0	13	33	44	27	116
	平年値*2	10	36	33	31	19	129
県全域	2022年度*1	4	34	137	309	211	696
	2021年度*1	3	141	261	371	184	959
	平年値*2	134	258	262	307	193	1,116

*1：年度とはシラスウナギの採捕期間である12月1日から4月30日まで

*2：平年値は2012~2021年度の10か年平均

クルマエビ種苗の放流が行われました

吉川 昌之

8月31日に鷺津と雄踏、9月2日に白洲で、全長30mmのクルマエビ種苗がそれぞれ20万尾、計60万尾放流されました。例年、15mmの種苗を浜名湖内に設置した囲い網内で10日程度中間育成してから放流していましたが、今年はそのかわりに、温水利用研究センターで30mmまで飼育してから、

砂に潜る習性を身につけさせるため2~3日囲い網内で馴致して放流しました。温水利用研究センターにはご苦勞をおかけすることになりますが、中間育成が漁業者に大きな負担となっていたことから、今後、この方法が定着することが期待されます。



種苗を船に積み込む



タルに收容された種苗



囲い網内に種苗を放す



種苗に給餌する

県民の日イベント「浜名湖うなぎ物語」を開催

吉川 昌之

静岡県は、8月21日を県民の日とし、様々な施設で県民の日イベントを開催しています。当场でも毎年、県内の親子を対象としたイベントを開催していましたが、令和2年からは新型コロナウイルス感染症のまん延などにより中止、または簡易な展示で対応せざるを得ませんでした。しかし、今年は4年ぶりに本格的な開催が可能となり、3家族12人(大人5人、子供7人)に参加いただきました。

当日はまず、筆者が「浜名湖うなぎ物語」と題して、ウナギの一生、ウナギの養殖及び絶滅が危惧されているウナギの保護について、お話ししました。

子供たちからは、ウナギのからだや生態、おいしいうなぎとは?など、活発な質問がありました。

続いて、「浜名湖体験学習施設ウォット」において、ウナギの餌やり体験を行いました。実際にウナギ用配合飼料を水で練って、ウナギに与え、そのあとウナギに直接触れてもらいました。子供たちが真剣な眼差しで餌を練る様子や、ウナギに恐る恐る触れながらも喜んでいる姿が印象的でした。

来年以降も、子供たちの興味を引くイベントを企画したいと思います。



「浜名湖うなぎ物語」のおはなし



うなぎの餌を練る



うなぎに餌を与える



うなぎに触れる

静岡県漁業士会西部支部と行政との意見交換会を開催

霜村 胤日人

静岡県漁業士会西部支部は、9月1日に当分場において、県水産・海洋局の幹部職員らとの意見交換会を開催しました。この意見交換会は、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症まん延の影響により中止していたため、4年ぶりの開催となりました。

西部支部所属の漁業士12人が出席し、浜名湖及び福田漁港の航路の維持管理、浜名湖の環境モニタリング、トラフグの資源管理、洋上風力発電などについて話し合いました。



意見交換会の様子

分場日誌（令和5年7月～8月）

【7月】

- 3日 第1回広域種栽培漁業推進検討会
- 4日 アサリ資源調査
- 7日 漁業士会役員会
- 11日 浜名湖定点観測
- 14日 水産行政都道府県担当者会議
- 20日 ふじのくに SDGs 生産者認証制度説明会
- 21日 資源管理手法検討部会（トラフグ伊勢・三河湾系群）
- 26日 浜名地区広域水産業再生委員会

【8月】

- 1日 アサリ資源調査
- 7日 新成長戦略研究現地指導
- 8日 浜名湖定点観測
- 18日 漁業士会西部支部会
- 21日 県民の日イベント
- 31日 浜の活力再生プラン策定担当者説明会
技術連絡協議会

弁天島の水温・比重（令和5年7月～8月）

月		2023年		平年※	
		水温	比重(σ15)	水温	比重(σ15)
7月	上旬	24.3	24.4	24.2	22.6
	中旬	27.0	23.6	25.5	22.3
	下旬	28.3	24.2	26.7	22.1
	平均	26.6	24.1	25.5	22.3
8月	上旬	27.7	22.7	27.9	24.0
	中旬	28.9	23.7	27.4	23.3
	下旬	29.5	22.7	27.3	23.7
	平均	28.7	22.9	27.5	23.7

※ 過去10年平均

体験学習施設「ウォット」より

★2023 年秋季 2 施設合同特別企画「毒のいきもの展」開催のお知らせ★

浜名湖体験学習施設ウォットでは10月21日～12月10日の期間、毒を持つ生き物をテーマに、磐田市竜洋昆虫自然観察公園と2施設合同で開催いたします。

生き物のなかには、獲物を捕らえたり、身を守ったりと、自然界を生き抜くために「毒」を持つ生き物がいて、毒の種類や危険性、棲む場所は様々です。また、浜名湖には、魚類・軟体動物・刺胞動物・棘皮動物と多種多様な有毒生物が生息しています。

本企画展では、両施設で水中と陸上に暮らす毒を持つ生き物の展示を通して、生態や毒について知っていただくとともに、生物多様性への理解を深めるきっかけを図ります。会期中には特別イベントやオリジナル缶バッジがもらえるスタンプラリーも開催予定ですのでお楽しみに。

皆様のご来館をスタッフ一同お待ちしております。

※ お申込み・お問い合わせは、ウォット（TEL：053-592-2880）にお願いします。



秋季2施設合同特別企画「毒のいきもの展」チラシ

(ウォット館長 大竹 純也)

関連情報をQRコードから確認できます

浜名湖分場	広報誌「はまな」	ウォット	関東・東海海況速報
			